

剣 道

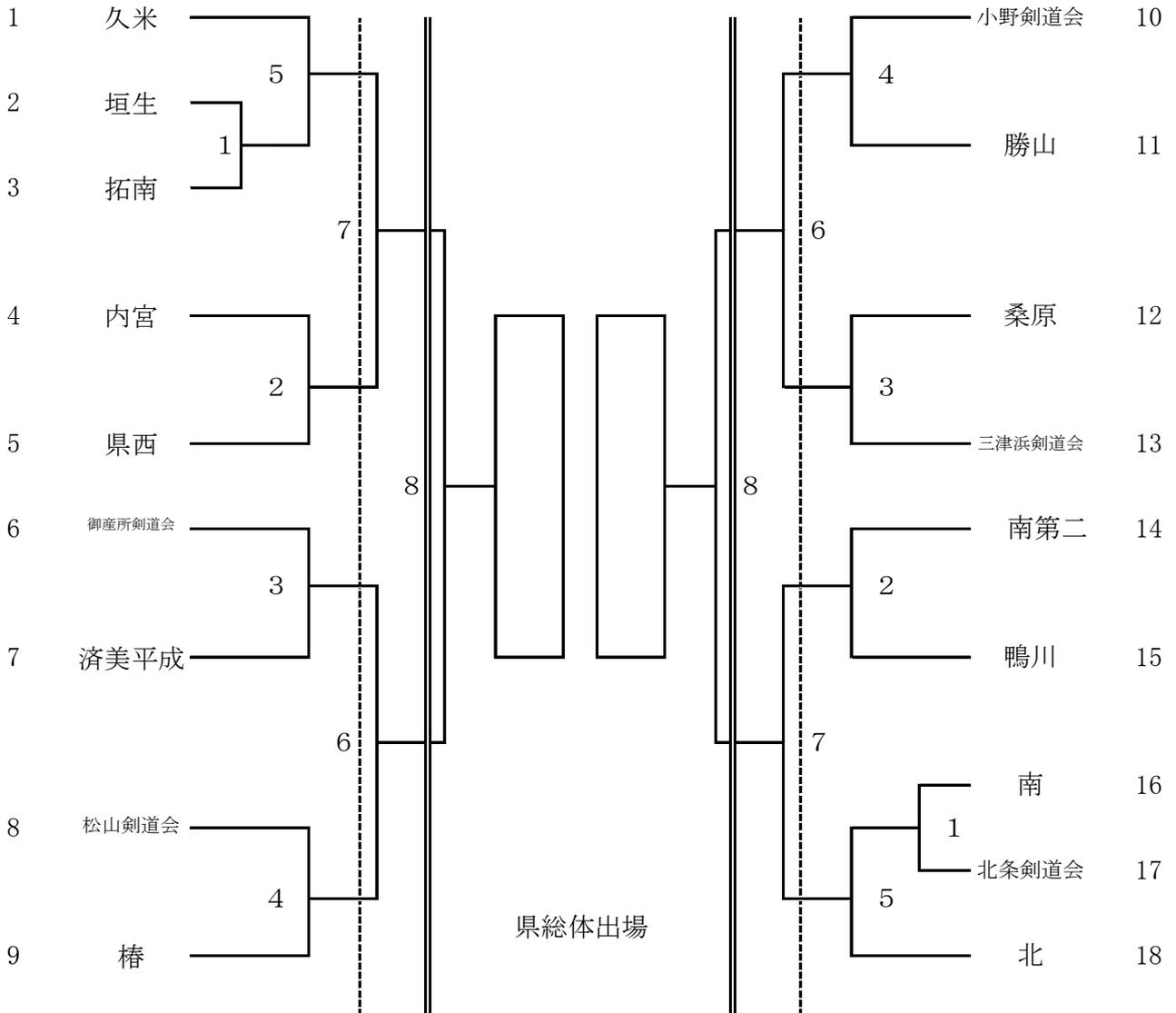
責任者 小 笠 原 直 輝 (松山東雲中)

- 1 期 日 令和7年6月10日(火)・11日(水)
- 2 会 場 愛媛県武道館剣道場
- 3 開 会 式 実施しない
- 4 試合開始時刻 10:00～
- 5 組み合わせ

【Aブロック】〔第1試合場〕

男 子

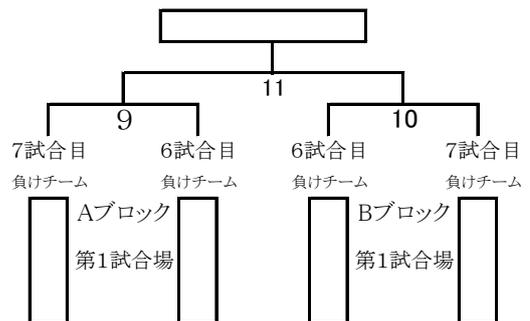
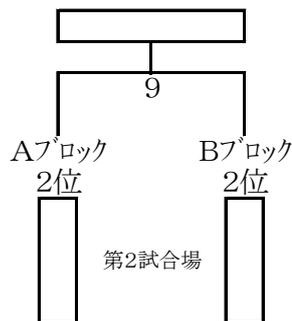
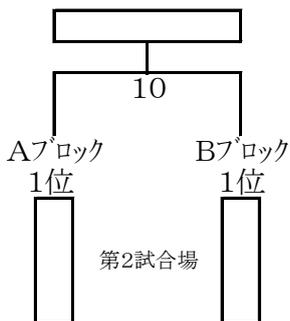
【Bブロック】〔第2試合場〕



順位決定戦

順位決定戦

県総体出場決定戦

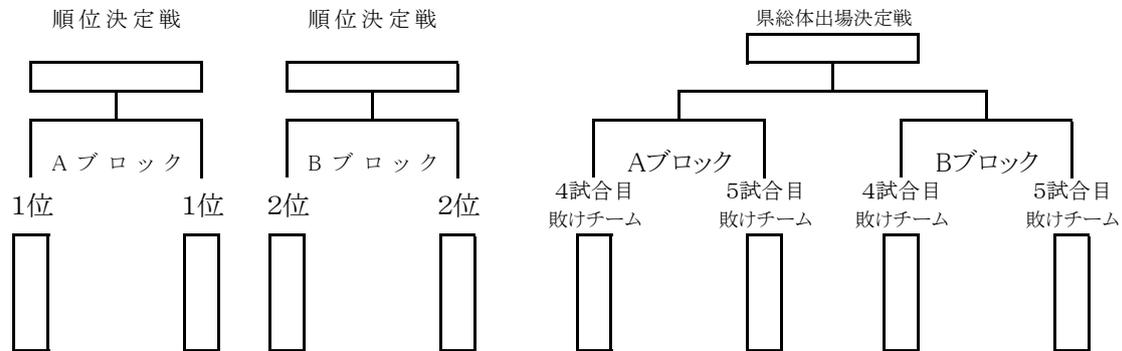
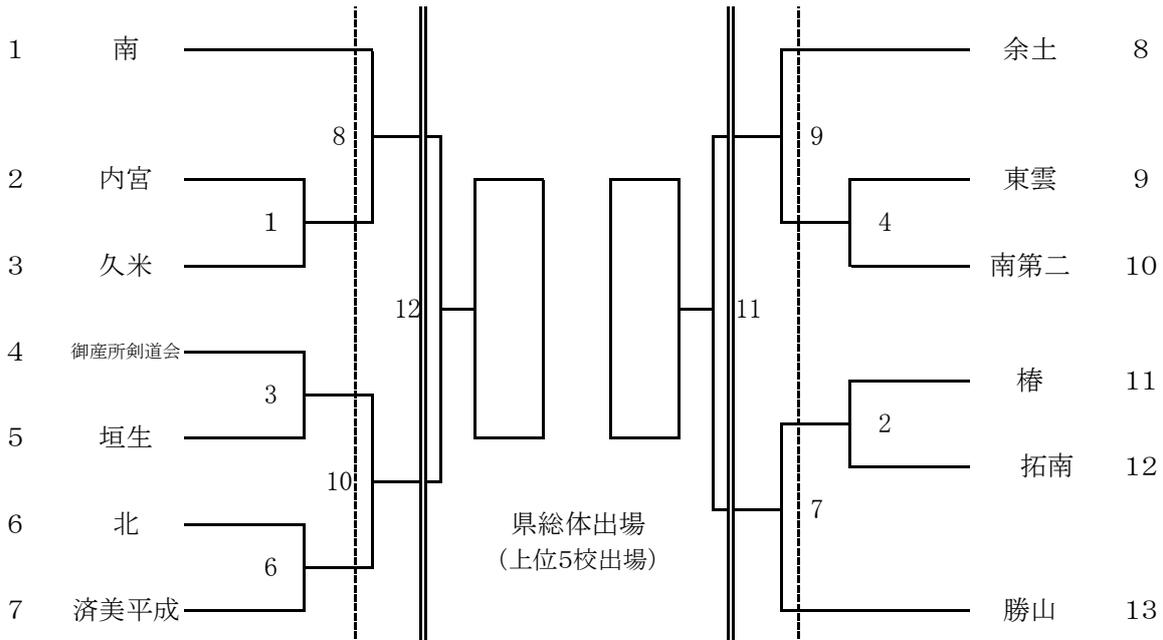


剣 道

女 子

【Aブロック】〔第3試合場〕

【Bブロック】〔3試合場〕



- ※ 試合は団体、個人の順で行う。
- ※ 垂れに団体名『～中、～剣』(横)、姓(縦)が記入してある黒または紺色の布地の名札を着用する。
- ※ 団体名以外の名称が着いている剣道着や袴の着用は禁止する。
- ※ サポーター、テーピング、足袋等を使用する場合は、自分の試合が始まるまでに、各試合場の審判主任に各自口頭で申し出ること。(サポーターは他競技の物、皮やゴム及び滑り止めを底に張ったもの等の使用は禁止)
- ※ 竹刀の弦の色は白、黄、紫のいずれかとする。
- ※ 柄革は滑り止めや模様等のない無地のもので、白色とする。
- ※ 鐙は直径9cm以内、色は皮色(白色可)のものとする。
- ※ 面乳皮は大きさ、色、模様も含めて華美にならないように配慮し、色は黒色または紺色とする。
- ※ 面紐の長さは結び目より40cm程度とする。長いものは必ず切り揃えておくこと。
- ※ 各校紅白の目印を持参する。
- ※ 試合及び練習において、顔に直接着ける「マスク」か、面金内側に装着する「シールド」どちらかの着用を必須とする。
- ※ オーダー表を持参する。(4人の場合は次鋒抜き、3人の場合は次鋒・副将抜き)

【オーダー表】

21cm	学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将
	13cm	13cm	13cm	13cm	13cm	13cm